

2026年1月期決算説明
及び

2027年1月期事業計画
中期経営計画

2026年3月18日
株式会社ストレージ王
(東証グロース：2997)

ストレージ王



by ストレージ王

1 2026年1月期決算の概要

2 2026年1月期 各事業の状況

3 2027年1月期 事業計画

4 中期経営計画について

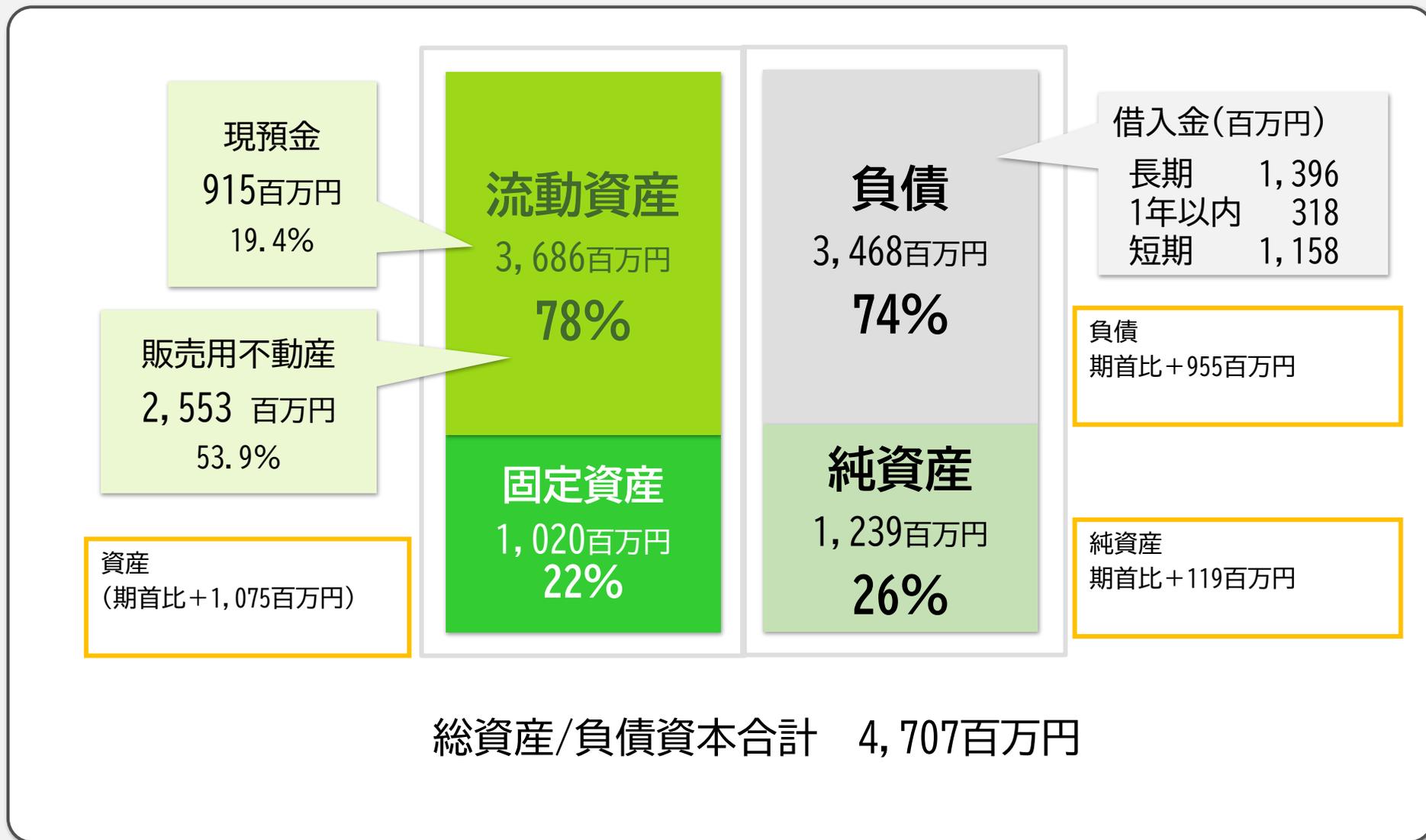


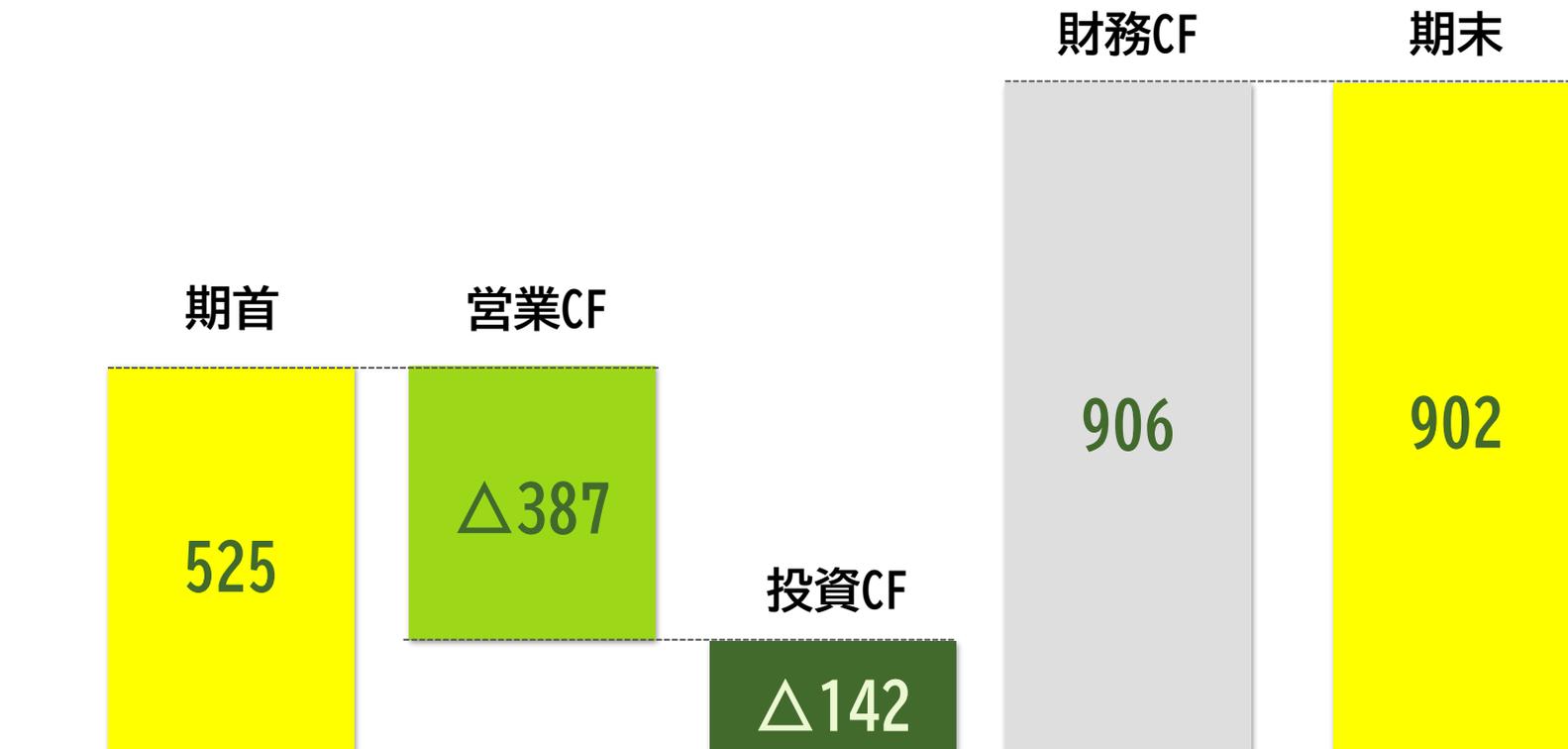
(百万円)	前期	期初計画	2026年1月期	前年比 増減
売上高	4,262	4,400	3,999	93.8%
営業利益	171	185	191	111.3%
経常利益	170	173	172	101.2%
当期純利益	75	130	117	155.3%

- 👑 建設工事の工期調整とコスト増に苦しんだが、既存運営店舗の好調により営業利益は増益となった。
- 👑 開発分譲事業で2件の売却時期をずらしたため、売上高は減少したが、経常利益は前期並みを確保。

売上高		前年比増減		
	運営管理	1,096 百万円	207 百万円	23.3 %
	開発分譲	2,531 百万円	△782 百万円	△23.6 %
	その他	371 百万円	311 百万円	520.3 %

営業利益		前年比増減		
	運営管理	19 百万円	72 百万円	- %
	開発分譲	437 百万円	△10 百万円	- %
	その他	24 百万円	7 百万円	42.9 %





単位：百万円

2026年1月期決算の概要 株式の状況

	前期末	当期末	前期比
時価総額	1,718百万円	1,823 百万円	106.1%
発行済株式数	1,847,500株	1,853,500株	103.2%
PBR (倍)	1.68	1.47	95.9%
株価 (円)	930	984	105.8%





再利用による未来への一歩

～コンテナ再活用によるCO₂削減と持続可能な物流の推進～

取り組み概要

東京都足立区「谷在家トランクルーム」で使用していた20Fコンテナ16本を塗装・整備し、静岡県袋井市「袋井湊トランクルーム」にて再利用。
<https://www.storageoh.jp/procedure/procedure3>

海外からの新造コンテナ輸入に代えて国内再利用を実施することで、製造・輸送に伴うCO₂排出を大幅に削減し、サステナブルな資源活用モデルを構築しました。

定量データとしては業界初としての取組を実施

※本リリースに記載されたCO₂排出量の算定は、国土交通省および経済産業省のガイドラインに基づき、社内で独自に算出したものであり、第三者による検証は行っていません。



SDGsへの貢献



資源循環と環境負荷低減を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

16本
再利用コンテナ

197Km
輸送距離

64.3 t
CO₂削減量



ストレージ王 × ブックオフ「R-LOOP」
衣料品、日用品のリユース・リサイクルPOCを
店舗型トランクルームで全国初の取組を実施

<p>11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	<p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p> 
--	---	--

神奈川県川崎市の「梶が谷トランクルーム」にて、ブックオフコーポレーション株式会社およびBPLabが共同運営するボックス型不要品回収システム「R-LOOP（アールループ）」を活用した衣料品等リユース・リサイクル推進のPOC（概念実証）実験を、**2025年9月1日～9月30日の1カ月間**実施。

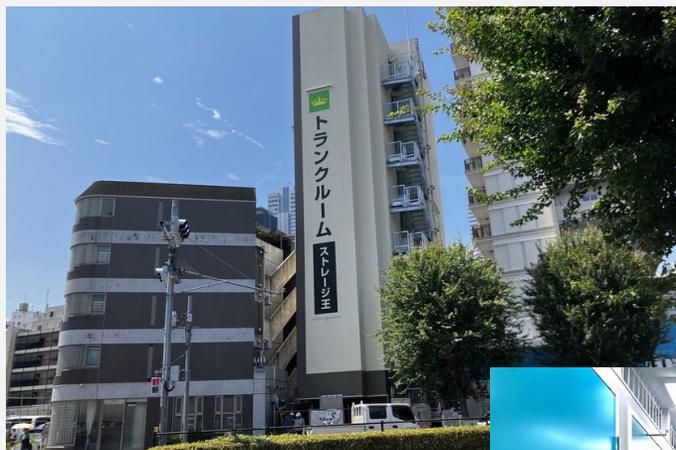
店舗型トランクルームへの導入は、今回が**全国初の取り組み**です。

リリース日:2025/8/29

<https://www.storageoh.jp/procedure/procedure3>

屋内型 1棟ビル型トランクルーム

- ✓ オフィス需要に対応
- ✓ 都心部の様々な需要への対応(24時間利用)
- ✓ ロッカータイプから大型の法人需要の部屋まで部屋タイプを拡充！ニーズに対応した構成での出店



西新宿トランクルーム

東京都新宿区西新宿8丁目3-21

JR大久保駅より徒歩約8分

新宿税務署の斜め向かい

- ・ 2025年9月1日OPEN
 - ・ 9階建て195部屋
 - ・ 24時間出し入れ可能
 - ・ 建物入り口は電子セキュリティキー
 - ・ 防犯カメラ/建物内もカメラを設置
 - ・ エアコンなどの空調設備
 - ・ 設備：エレベーターや台車や脚立
 - ・ 建物内の廊下や室内はカーペット仕様
 - ・ お車でも来店可能な一時駐車スペース
- ※高稼働の新宿フロントタワーとは600m

1 2026年1月期決算の概要

2 2026年1月期 各事業の状況

3 2027年1月期 事業計画

4 中期経営計画について



2026年1月期 大型店舗の開発&売却実績

西新宿TR

鉄骨造 9階建て 195室

都立大学TR

鉄骨造 7階建て 88室

石神井台TR

鉄骨造 4階建て 132室

下谷TR

他社物件

売却済



東京都新宿区
西新宿TR



東京都練馬区
石神井台TR

その他の大型店舗

案件名	所在地	OPEN
元住吉TR	神奈川県川崎市	2026/1
川崎小田TR	神奈川県川崎市	2026/2
世田谷成城TR	東京都世田谷区	2026/4(予定)
世田谷奥沢TR	東京都世田谷区	2026/6(予定)
横浜綱島TR	神奈川県横浜市	
川崎幸町TR	神奈川県川崎市	



あま碁目寺TR



南区泉田TR



笠松TR



土岐TR



塩屋北TR



磐田二之宮TR



太田尾島TR



取手ゆめみ野TR



都城大王TR



秋田檜山TR



秋田土崎TR



横手TR



袋井湊TR



矢吹TR



浜松志都呂TR



甲府昭和TR



境町第2TR



古河下辺見TR



宇部流川TR



宇部岬町TR



南仙台TR



新潟豊栄TR



関TR



荒尾TR



新潟寺尾TR



半田乙川TR



鹿屋寿TR



日立河原子TR



和光白子TR



南区洲崎TR

2026年1月期コンテナ型トランクルームを30か所出店

2026年1月期は34店舗1,608室を開店致しました。

東京	371	埼玉	69
茨城	140	鹿児島	47
静岡	127	山梨	46
神奈川	105	宮城	42
秋田	100	群馬	40
愛知	92	福島	34
岡山	84	宮崎	34
岐阜	79	熊本	29
山口	73	兵庫	24
新潟	72	合計	1,608

コンテナ型 30店舗
1,132室

新築屋内型 3店舗
432室

既存ビル内出店 1店舗
44室



各事業の状況 店舗数

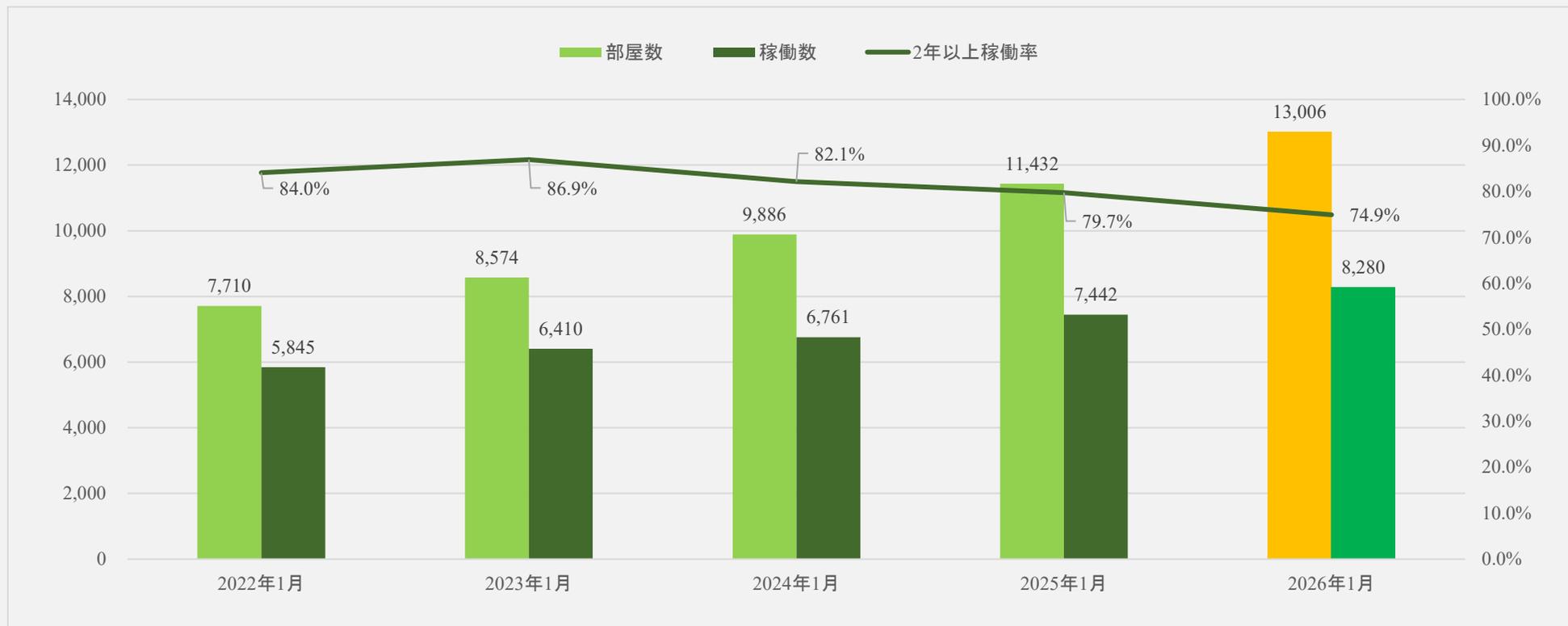
トランクルーム県別店舗数と分布 ※2026年1月31日時点のデータに基づいて作成

都道府県 店舗数

秋田	3 店	岐阜	3 店
宮城	1 店	滋賀	3 店
福島	1 店	大阪	1 店
栃木	15 店	三重	1 店
群馬	5 店	兵庫	2 店
埼玉	7 店	岡山	45 店
茨城	14 店	山口	4 店
東京	51 店	香川	2 店
千葉	29 店	福岡	2 店
神奈川	17 店	熊本	2 店
新潟	2 店	宮崎	2 店
山梨	1 店	鹿児島	1 店
静岡	7 店	沖縄	1 店
愛知	2 店	計	224 店



各事業の状況 部屋数と稼働数及び稼働率推移



※部屋数については出店・閉店以外にも部屋増設・部屋割り変更等により変動いたします

年度	2022年1月	2023年1月	2024年1月	2025年1月	2026年1月
部屋数	7,710	8,574	9,886	11,432	13,006
稼働数	5,845	6,410	6,761	7,442	8,280
2年以上稼働率	84.0%	86.9%	82.1%	79.7%	74.9%

1 2026年1月期決算の概要

2 2026年1月期 各事業の状況

3 2027年1月期 事業計画

4 中期経営計画について

ROOM

① ストック収益の構築

- ・ コンテナ型店舗の積極出店継続 + 自社保有化の推進

(2026年1月期実績：30店、2027年1月期も同水準の出店を想定)

② 首都圏屋内型物件の出店継続

- ・ 立地厳選の上、出店強化の方針。建築費高騰影響の比較的少ない木造物件に注力

③ 稼働率向上への積極的取り組み

- ・ 立地戦略、マーケティング戦略の練り直し。ダイナミックプライシングの導入検証

2027年1月期事業計画 目指す売上損益

単位：百万円	2026/1	2027/1	前年比	2028/1	前年比	2029/1	前年比
	実績	予算		計画		計画	
売上高	3,999	4,668	116.7%	5,133	110.0%	5,202	101.3%
売上総利益	704	813	115.4%	866	106.5%	934	107.9%
売上総利益率	17.6%	17.4%	-	16.9%	-	18.0%	-
営業利益	191	217	113.5%	258	118.9%	314	121.7%
経常利益	172	191	110.9%	221	118.2%	266	120.2%
当期純利益	117	134	114.7%	151	115.7%	181	120.4%
当期純利益率	2.9%	2.8%	-	2.9%	-	3.5%	-
EBITDA	289	367	-	459	-	566	-

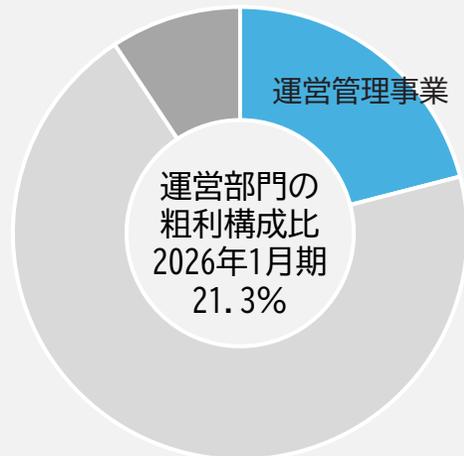
※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

運営部門粗利構成比

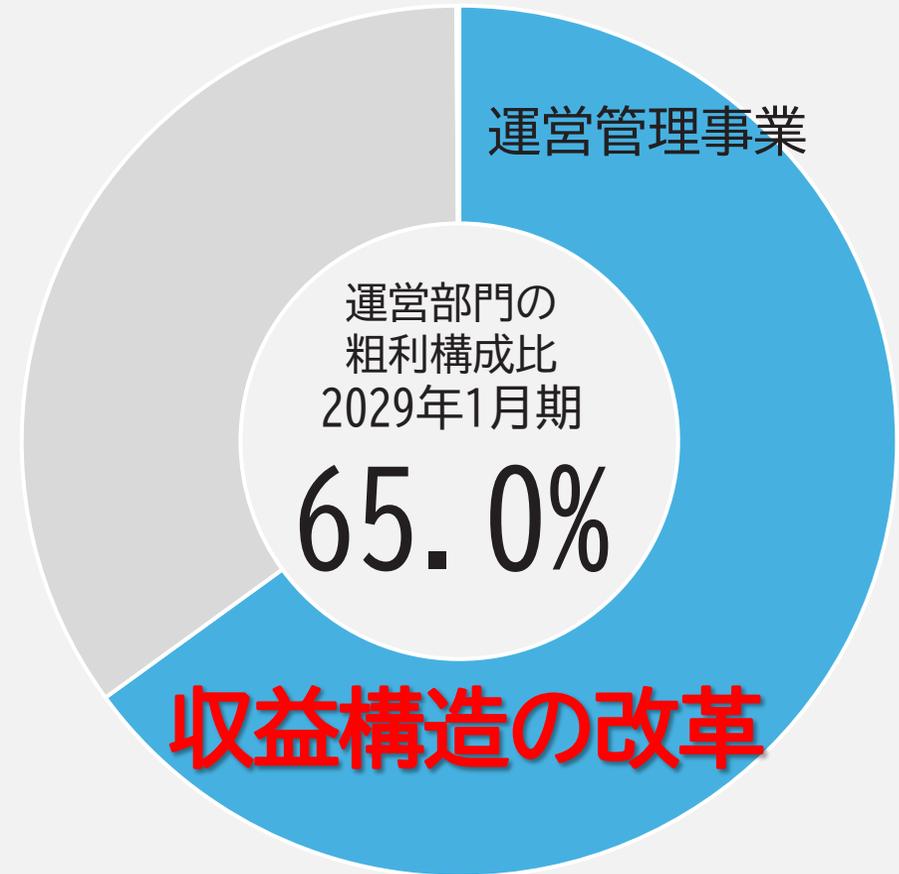
2029年1月期に65.0%の計画

※ 自社保有を増やすことで利益率を拡大。
安定収益として開発部門と共に経営の
両輪となることを目指す

※ 詳細は2026年1月20日開示の中期経営計画をご確認ください



■ 運営管理 ■ 開発 ■ その他



■ 運営管理 ■ 開発 ■ その他

株式会社ストレージ王

窓口 株式会社ストレージ王 管理部

E-mail contact_corp@storageoh.jp

URL <https://www.storageoh.co.jp/>

(サービスサイト <https://www.storageoh.jp/>)

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。